

提供 名古屋城総合事務所

名古屋市立大学寄附講座（近世名古屋学）公開講座

名古屋城本丸御殿を考える

— 江戸の美と現代の技術 —

提供 名古屋城総合事務所



千田嘉博（撮影：畠中和久氏）

日時

2025年

7月12日 土

13:00～16:45(12:00 開場)

定員

800名

事前申込制

※お申込方法は裏面参照

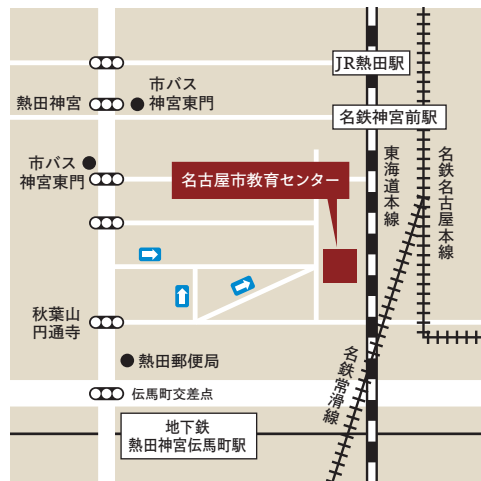
会場

名古屋市教育センター講堂

〒456-0031 名古屋市熱田区神宮三丁目6番14号

●地下鉄熱田神宮伝馬町駅「2番出口」より徒歩5分

●名鉄神宮前駅より徒歩5分 ●JR 熱田駅より徒歩10分



事務局

名古屋市立大学寄附講座運営事務局

080-4932-8263（お問い合わせは7月12日まで）

平日／10:00～17:00 当日のみ／10:00～16:00

Email: jimukyoku@think-pp.co.jp

主催

名古屋市立大学

共催

名古屋市、
名古屋市教育委員会



橋本麻里

かざる建築 空間と体験

学芸プロデューサー。小田原文化財団 甘橘山美術館 開館準備室室長。一般社団法人 刀剣文化研究保全機構 業務執行理事。金沢工業大学客員教授。新聞、雑誌等への寄稿のほか、美術番組での解説、キュレーション、コンサルティングなど活動は多岐にわたる。近著に『かざる日本』（岩波書店）、共著に『図書館を建てる、図書館で暮らす 本のための家づくり』（新潮社）、『世界を変えた書物』（小学館）、編著に『日本美術全集』第20巻（小学館）など多数。



朝日美砂子

名古屋城本丸御殿の表裏

名古屋市博物館などを経て、名古屋城総合事務所に学芸員として勤務。

現 金城学院大学等非常勤講師

専門は、日本近世絵画史。名古屋城本丸御殿の木造復元にかかわり、本丸御殿はじめ近世の障壁画について詳しい。近年は工芸や建築についても言及している。近著に「城郭がたどった近代—軍営・官公庁・公園・観光地への転換」・「帝鑑図と帝鑑図説」（いずれも共著）など。



千田嘉博

信長・秀吉・家康の御殿 —城郭史上の名古屋城本丸御殿—

愛知県出身。

1986年奈良大学文学部文化財学科卒業、同年より名古屋市見晴台考古資料館学芸員として従事する。2009年に奈良大学文学部文化財学科教授、2014年～2016年に奈良大学学長を歴任し、2016年にNHK大河ドラマ「真田丸」の真田丸城郭考証を務める。研究テーマは「城から歴史を解明するだけでなく、市民とともにいかに保存・活用していくかを考察」すること。

2023年9月より、名古屋市立大学教授（近世名古屋学）に着任。

特別対談 橋本麻里 × 朝日美砂子 × 千田嘉博

※時間や内容については、都合により変更することがあります。

お申込方法

申込フォーム

<https://form.run/@ncunagoyagaku0712>

入力事項

二次元コードまたは上記 URL から、代表者氏名（フリガナ）、メールアドレス、電話番号、参加人数（1組2名まで）を入力。
※電話番号は日中に連絡のつく番号をご記載ください。
※記載事項の欠けているもの、同一アドレスからの複数回の応募は無効（落選）となりますので、ご注意ください。



お申込み二次元コード

申込期限

2025年5月31日（土）まで

その他

応募者多数の場合は、抽選により決定します。
抽選結果は、応募者全員に対し、6月9日（月）～6月13日（金）の間にメールでお知らせします。
※ドメイン指定受信などの設定をされている場合は、「@form.run」からのメールを受信できるよう、事前にご確認ください。